

No.63

令和3年8月1日

★えんがる 議会だより

先生には負けるもんか！！
白滝中学校体育祭（P14に続く）



遠軽町議会 LINE
はじめました！



QRコードを読み込んで

LINE 友だち追加

令和3年第4回議会（定例会）

令和3年第3回議会（臨時会）

ここが聞きたい！一般質問

委員会レポート

報告（第三セクター）

えんがある話

令和3年第4回町議会（定例会）

令和3年第4回遠軽町議会（定例会）は、6月16日に招集され、6月18日までの3日間の会期で開かれました。

冒頭、佐々木町長から行政報告として、新型コロナウイルス感染症に関する対応についての経過報告があり、ワクチン接種の状況や今後の見込みについての報告をはじめ、引き続き感染症の流行が長期に及び経済的に大きな影響を受けている地域経済の早期回復や感染対策事業に取り組みを進めていく旨の報告がありました。

また、各中央要望の状況について報告があったほか、提出案件の要旨説明が行われました。

報告は、第三セクターの経営状況について1件、令和2年度一般会計及び上下水道事業会計の繰越等について報告しました。

審議案件の主なものは、令和3年度一般会計補正予算、各条例の一部改正3件、表彰7件、工事請負契約の締結3件、財産の取得1件、追加議案2件が提出され審議したほか、議員提案による意見書3件、委員会提案による町議会規則の一部改正が提出され可決しました。

一般質問は3人の議員からあり、町政について質しました。

完成が待たれる遠軽町芸術文化交流
プラザを中心とする駅前風景

1日でも早く
感染症の影響のない
日常へ向かうために

令和 3 年
第 4 回定例会
6 月 16 日～18 日

主 な 内 容

補 正 予 算

◆令和3年度遠軽町一般
会計補正予算(第2号)

歳入歳出予算の総額に
4億1406万円を追加
し、総額を199億57
84万円としました。

(主な歳出内訳)

○企画一般経費

250万円

・コミュニティ助成事業
補助金

遠軽地区自治会連合会
のテント等コミュニティ
活動備品整備に対する補
助金です。

○地域おこし協力隊事業

100万円

・地域おこし協力隊起業
支援補助金



地域のコミュニティ活動のために

地域おこし協力隊の定
住促進を図るため、町内
での起業に要する経費に
対する補助金です。

○基金運営事業

1453万円

・まちづくり振興基金積
立金

指定寄附金12件、ふる
さと納税寄附金1305
件です。

○新型コロナウイルス感
染症対策事業

8261万円

(主なもののみ)
・キャンプ場予約管理シ
ステム等作成業務委託
料
・備品購入費

会議負担金

遠軽厚生病院の医師確
保のための負担金を、遠
軽町、佐呂間町、湧別町
の3町により負担するも
の です。

○環境衛生一般経費

75万円

・飲料水確保事業補助金
一般住宅の飲料水を確
保するための井戸ボーリ
ング費用に対する補助で
す。

○歯科診療所運営事業

75万円

・新型コロナウイルス感
染症感染拡大防止・医
療提供体制確保支援補
助金

医療機関が感染拡大防
止を図り医療提供体制を
確保するための費用に対

する補助です。

○農業振興一般経費

588万円

・畑作構造転換事業補助
金

てん菜の風害軽減対策
により生産性向上を図る
ための新技術導入に対す
る補助です。

○畜産関係団体助成事業

2億5800万円

・畜産・酪農収益力強化
整備等特別対策事業補
助金

酪農の哺育育成部門の
分業化による労働力不足
対策や所得向上を図るた
め、えんゆう農業協同組
合が取組主体となり実施
する哺育育成センター整
備に対する補助金です。

○商店街助成事業

170万円

・商工業振興補助金

店舗の新設、改修等を
行う店舗近代化助成対象
の新規申請件数増加によ
る補助金の追加です。

○道の駅遠軽森のオホー
ツク管理事業

2000万円

子育て世代への支援のために





表彰

遠軽町表彰条例により、次の方を表彰することについて、原案のとおり可決しました。

◎社会功労（公共のため30万円以上の金品を寄附した個人）

・学田 3 丁目

高橋 清 美 様

（交通安全対策資金）

・札幌市清田区

佐藤 孝之 様

（ふるさと振興資金）

・福路 3 丁目

勝山 眞砂子 様

（まちづくり振興金）

（教育振興資金）

◎社会功労（公共のため100万円以上の金品を寄附した法人又は団体）

・東京都中央区

信金中央金庫

（まち・ひと・しごと創生推進事業資金）

・福路 2 丁目

佐々木産業（有）

（林業担い手育成資金）

（全会一致可決）

（全会一致可決）

（全会一致可決）

（金）

・福路 2 丁目

株式会社 S F ・ 菅野

（林業担い手育成資金）

（金）

・南町 3 丁目

（株）渡辺組

（遠軽町芸術文化交流プラザピアノ購入資金）

（奨学資金貸付資金）

（バストス市交流資金）

（奨学資金貸付資金）

（バストス市交流資金）

（金）

主な条例改正

◆遠軽町手数料条例の一部改正

建築物のエネルギー消費性能の向上に関する法律等の一部改正に伴い、建築物エネルギー消費性能適合性判定手数料を定めるほか、所要の規定を整理するため改正するものです。

永年の功績が認められ 自治功労者表彰

一宮龍彦議員及び黒坂貴行議員に、北海道町村議会議長会会長から自治功労者表彰の伝達が行われました。

このたびの表彰は、北海道町村議会議長会表彰規定に基づき、2名の議員が15年以上にわたり、遠軽町議会議員として地方自治の振興発展に貢献した功績が認められたもので、前田篤秀議長から表彰状の伝達を受けました。



議会を傍聴してみませんか？

定例会は、年4回（3月・6月・9月・12月）、臨時会は必要に応じて随時開かれます。

今、どのようなことを話し合い、決めているのか。子や孫の未来はどうなるのか。その答えはここにあります。



地域の林業・木材産業の振興に向けて

―国などへの意見書を3件提出―

議員提案により意見書が提出され、可決し関係省庁等に送付しました。

部科学大臣（全会一致）

地方財政の充実・強化を求める意見書

（提出者等 竹中議員ほか4人）

学校教育におけるデジタルトランスフォーメーションを適切に進めるための意見書
（提出者等 阿部議員ほか3人）

コロナ禍による新たな行政需要なども把握しながら令和4年度の地方財政の確立をめざすことを求める。

新しい時代を生きる子どもたちに相応しい教育を推進するため、DXの実現に向けて取り組むことを求める。

（提出先）内閣総理大臣、内閣官房長官、総務大臣、財務大臣ほか（全会一致）

（提出先）内閣総理大臣、財務大臣、総務大臣、文

林業・木材産業の成長産業化に向けた施策の充実・強化を求める意見書

（提出者等 佐藤登議員ほか4人）

本道の森林を将来の世代に引き継いでいくため、施策の充実・強化を図ることを求める。

（提出先）衆・参両議院議長、内閣総理大臣、財務大臣ほか（全会一致）

林業・木材産業の成長産業化の実現を！



令和3年第3回町議会（臨時会）

新型コロナウイルス感染症対策事業
補正予算可決

主な内容

補正予算

令和3年第3回遠軽町議会（臨時会）が5月7日に開かれました。

審議案件は、令和3年度遠軽町一般会計補正予算（第1号）が提案されたほか、新型コロナウイルスワクチン接種に係る令和2年度一般会計補正予算を含む専決処分3件、工事請負契約の締結5件、財産の取得1件が提案され、審議の結果すべて原案のとおり可決しました。

○新型コロナウイルス感染症対策事業
4733万円

・プレミアム付食事券発行事業補助金

感染症の流行に伴い経済的に大きな影響を受けている町内飲食店の経営を支援し、町内の消費喚起を図るための経費です。

・宿泊施設利用促進ギフト券発行事業補助金
宿泊施設の利用を促進するとともに町内の消費喚起を図るため、宿泊施設を連泊で利用する場合に町内で使用可能なギフト券を配布するための経

費です。

・公共施設等環境改善工事
生田原コミュニティセンター「ノースキング」レストランの感染対策として、利用客の密を避け分離するため、2階の一部をレストラン室として改修する経費です。

○教育振興一般経費
245万円

・GIGAスクールサポーター配置促進事業委託料

GIGAスクール構想に伴う小中学校のICT化の活用に対し、人的体制や教職員のサポートについて専門的な人材による支援を受けるための経費です。



ただ 町政を質す!!

令和3年第4回町議会(定例会) 一般質問には、3人の議員が登壇し、多岐に渡り白熱した議論が展開されました。 ※一部要約して記載

一般 質問

ここが聞きたい!



渡部 正騎 議員

通所型サービスBの実施のために
さまざまな検討を

7



阿部 君枝 議員

町内在住の遠軽高校通学者の交通費を
助成する考えは

8



今村 則康 議員

次期町長選挙立起表明の考えは

9

一般質問とは?

一般質問は、町の行政全般(一般事務)に関し、執行者所見や疑義について質問できるものです。質問する議員も、受ける執行機関も十分な時間が必要なことから通告制とし、事前に質問内容を通告することとしています。

本町議会では質問と答弁がかみ合うように、全文通告制がとられています。

再質問からは、一問一答方式が採用されており、回数に制限なく質問時間を一議員 30 分以内としています。

ただ 町政を質す!!

一般質問

渡部 正騎 議員



問

通所型サービスBの実施のために
さまざまな検討を

答

具体的な要望があった場合にどの
ような支援ができるか検討したい

問 通所型サービスBは、介護予防・日常生活総合事業の中で定められた住民等のボランティアの方が主体で運営されている通所型の介護予防事業です。

団塊の世代が75歳の年齢に達するいわゆる「2025年問題」、ひいては介護の担い手である現役世代の減少が進む2040年を見据えた地域共生社会実現のため、ボランティアの方の活動は必要不可欠であり、自助、公助、共助、互助の観点で地域包括ケアシステムを推進する必要があると考えていることから、次の2点について町の考えを伺います。

問 通所型サービスB等の多様なサービスの必要性について、町はどのように考えているのか、そして今後における事業展開とボランティアの支援方法について伺います。

町長 自助、公助、共助、互助のうち、とりわけ互いに助け合う「互助」が今後の地域社会で重要になると考えており、事業展開については各地域で培われてきた歴史的素地を生かした地域包括ケアシステムの構築が必要と

考えています。

考えています。

ボランティアの支援方法については、団体等を取り組まれてきた活動の発展形として住民主体で行うサービスの創出について具体的な要望があった場合に、どのような支援ができるか検討します。

地域の助け合いを育んでいく



再問 通所型サービスBの実施のためにさまざまな検討を行っていただければと思いますが、考えを伺います。

保健福祉課長 現時点で要望はありませんが、具体的な要望があった場合に側面的支援としてどのような支援ができるか検討します。

問 生活支援コーディネーターに期待される役割はさらに重要になると考えますが、どのような議論が形成され今後の方角性等について考えを伺います。

町長 設置されている協議体において、情報収集や個別ケアの検討をする中で地域課題を抽出していると認識しています。

再問 支え手の不足が予想される将来に向けて、どのような検討されているのか伺います。

保健福祉課長 現在、モデルとなる自治会を生活支援コーディネーターが選定し、自治会が取り組んでいる見守り等の活動について情報提供及び意見交換をしています。

事業展開へ向けたアイディア等については、協議体で検討し、できることから実施していただきたいと考えております。

ただ 町政を質す!!

一般質問

阿部 君枝 議員



問

町内在住の遠軽高校通学者の交通費を助成する考えは

答

単に生活費の負担軽減を目的とした助成は考えていない

問 遠軽町は、遠軽高等学校の生徒の確保及び保護者の経済的負担を軽減するため、遠軽地区（遠軽町・湧別町・佐呂間町）以外から遠軽高校に通学する生徒及び町内の下宿等から通学する生徒の保護者等に対し、通学及び下宿等に要する費用の一部を助成しています。

これらの事業は、保護者等の方々より「経済的にも、非常に助かっております。」また「来年は、安心して遠軽に下宿させられます。」等の声を聞きしています。

一方で本年4月に町内から子どもが遠軽高校へ

入学した保護者の方より、「3ヶ月分の通学定期券の購入費は家計に大きな負担になっている。町に費用の一部を助成していただきたい。」との要望をいただきました。

また、生徒の中には自宅から駅、駅から高校まで2台の自転車を使用し、通学している生徒もいます。

町は、これまで子どもを産み育てる家庭を様々な形で支援をしています。さらに地元高校へ通学している町内在住の生徒の保護者等に、交通費助成をする考えはありませんか。

町長 遠軽高等学校通学者等助成事業は、遠軽町、佐呂間町及び湧別町の3町以外の遠距離から通学する生徒の保護者に対して、通学及び下宿等に要する費用の一部を助成する事業として、平成27年度から実施しております。

この事業は、佐呂間町、湧別町におきましても、それぞれ高等学校がありますことから、3町の限られた生徒数を考慮し、それぞれの高等学校を維持する観点から、3町以外から通学する生徒の保護者等を対象にしているところであります。

3町以外の生徒が遠軽

高校に魅力を感じ、進学しやすい環境を整えることにより、多くの生徒を確保し、高等教育を守っていくことが、この地域の教育力の向上や発展に寄与するものと考えてお



保護者の負担軽減と生徒確保の考え方は

ります。

町としましては、遠軽高校に対し、これまでも教育委員会と連携し、大学受験オンデマンド講習補助をはじめ、楽器購入費補助、部活の全国大会出場に係る補助、学校の特色をPRし、生徒確保の活動に対する補助のほか、部活動の練習試合等の遠征に係る貸切バスの補助など、出来る限りの支援をしております。

このことから、町内在住の生徒の保護者等に対し、単に生活費負担の軽減を目的とした交通費を助成することについては、いかがなものかと考えるところです。

ただ 町政を質す!!

一般質問

今村 則康 議員



問 佐々木町長が就任してから3期12年を終えようとしております。政策の柱である5本の柱を軸に町政を運営し、この12年間で多くの課題に対して遅延なく対応するとともに各事業等への新しい取り組みができたのは、佐々木町長の積極進取な活動とともに二元代表制である議会がともに共有力、活発な議論により解決策を導き出してきたことと考えるところであります。

以下の二点について町長の考えをお聞きます。

問1 改めて町長として3期12年の政策の成果について、どのように総括しているのか。

町長 平成21年10月に町長就任以来、国に地方交付税の合併特例制度の変更や合併特例債発行期限延長を実現させるなど、しっかりとした財政基盤をまずは構築し、その上で将来を見据えながら防災対策や生活に直結する施設の整備、出産から高校までの子育て支援、経済対策や地域振興、陸上自衛隊遠軽駐屯地の存置及び部隊増強などを町民の皆様の声を聞きながら

問

次期町長選挙立起表明の考えは

答

解決する課題があり、立候補を決意



取り組んでまいりました。その中でも、就任直後に一般廃棄物最終処分場の短命化による焼却施設の建設に着手、各地域の浄水場の整備、中央幹線排水路の建設等、安全・安心で住み心地のよいまちづくりを推進できたものと考えております。

また、町民の皆様と計画段階から協議を重ね、「芸術文化交流プラザ」や「道の駅 遠軽森のオホーツク」の建設を進めるなど、みんなで創るまちづくりを実践してまいりました。この3期の間には、遠軽厚生病院産婦人科常勤医師が不在、JR北海道が石北本線を単独では維持困難な路線とした問題など、町の存続に影響する問題にも直面してきましたが、その都度、議会や町民の皆様と議論を重ね、対応してまいりました。

新型コロナウイルス感染症については、一日も

早くワクチンを接種できるように、体制を整えたところであります。

4町村の合併から15年が過ぎ、解決しなければならぬ課題は未だありますが、町民憲章にある「永遠に輝く遠軽町」の建設のため、町民の皆様とともに考え、ともに行動し、柔軟な発想と創意工夫のもと、責任と決断を持ってまちづくりに取り組んできたところであります。

問2 次期町長選挙に向けて、立起表明はどうされるのか。

町長 解決する課題があり、町民の皆様のご理解とご支援をいただきながら、町政のかじ取りを担ってまいりたいと考えており、立候補の決意を固めたところであります。

各常任委員会で審議した主な項目について掲載しています。

常任委員会 レポート

総務・文教

これからの まちづくりのために！

町村合併してから15年が経過し、これまで以上に町全体を見通してまちづくりを進めるために、町は「遠軽町未来づくり会議」を置くこととした。

未来づくり会議とは

今回置く会議の前身である「まちづくり会議」の設置期間が令和2年度で終了となり、各委員からまちづくり全般に関して「町民が町に意見を述べる場を残してほしい」という意見が多くあったことから、新たな形態で会議を設けることにした。まちづくり会議との違いとしては、まちづくり会議は合併特例法に基づく地域審議会の後継という性格もあつたことから4地域に会議を置いていたが、合併して15年以上経過したことも踏まえ、地域の垣根をなくし、一つの会議とした。

まちづくり会議で若い世代や女性に多く参加してもらうことによって、



町の魅力発信など様々な話し合いを！
(写真は未来づくり会議の前身「まちづくり会議」全体会議)

若者や女性が活躍 できるまちづくり とは！

自治会の枠組みによる町政懇談会と違う角度から意見を聞く場として位置付けてきたことを踏まえ、新たな会議においては、若者や女性がいきいきと活躍する地域社会を実現するため、町政全般に対する意見交換を行う会議として置くこととした。



問 若い人の新たな発想を吸い上げていくことが趣旨なら、若い人たちがで活発にディスカッションしてもらう場が必要だと思う。女性も含めて年齢を制限してはどうか。

答 意見を踏まえ、また選出を依頼する団体の意見も聞きながら、より良い会議とできるようにしていきたい。

この案件を含め委員会を6回開催、案件20件について審議しました。

常任委員会

レポート

民生

「コロナ」の 収束をめざして

コロナワクチン接種 の取り組み

新型コロナウイルス感染症に係る予防接種については、今後の新型コロナウイルス感染症対策の重要な柱として全国的に実施する施策であり、各市町村において本予防接種を実施するものとなっている。

本町においては、5月7日から医療従事者及び高齢者施設等に入居されている方とその従事者を対象に接種を開始し、また6月から一般高齢者への接種を開始するにあたり、まずは75歳以上高齢者の方たちから予約の受付を行った。

遠軽町の接種体制づくり

町は接種体制づくりを進めるにあたり、「個別接種」のほか「施設巡回接種」、「集団接種」と

より早くワクチン 接種ができる取り 組みを



医師や看護師の皆さんの献身的な協力に感謝！

いった接種種別による体制について、2月から町医師会を通じて町内医療機関と協議・調整を繰り返して取り組んでいる。

本予防接種は新型コロナウイルス感染症対策の決め手になるものであり、短期間のうちに希望する方全員に接種する必要があることから、町としても日々の状況変化に対し改善・対応すべく全町的に本予防接種業務を遂行している状況である。

注目に



問 高齢者の接種終了と、それ以外の年代への接種などの時期の見通しは。

答 一日の接種人数や集団接種の日数の拡大を図らなければ各年代の接種の終了も早められないため、医療従事者の人員を確保するなど、拡大に取り組んでいく。

この案件を含め委員会を2回開催、案件18件について審議しました。

常任委員会 レポート

経 済

森のオホーツク アクティビティの充実は

道の駅遠軽森のオホーツクは、ゲレンデと遠軽とオホーツクの魅力を発信する道の駅として、令和元年12月のオープン以来、冬の「えんがるロックバレースキー場」リフトの更新、コースの充実をはじめ、ツリートレッキングやインモーションなど、夏のアクティビティも順次整備・充実を図っている。

今年も当該施設アクティビティの目玉となる全長1000mを超える、高低差約250mのジップラインのほか、サマーゲレンデも完成・営業開始となる。

サマーゲレンデ オープン

施設概要

・場所 えんがるロックバレースキー場・ファミリーゲレンデ（幅約30m×全長約300m）

今年はジップラインとサマーゲレンデが完成する
（写真は完成したサマーゲレンデ）



様々なアクティビティの有効な活用を！

・営業日

【一般開放】

原則 金・土・日曜日

【団体利用】

原則 水・木曜日

【定休日】

原則 月・火曜日
（休日の場合は振替）

営業時間10時～16時

※気象条件や施設の都合により変更または営業休止することあり

・リフト料金については通常の冬季利用料金と同じ

・スキーやウェアなどは道の駅でレンタルも可

注 意



問 町民が利用しやすく、また地方から来町された方たちがまた利用したくなるよう、営業日を見直すことはできるか。

答 協議を重ねて決めたものではあるが、今シーズンの利用状況も鑑み検討していく。

この案件を含めて委員会を3回開催、案件19件について審議しました。

第三セクター報告

株式会社 生田原振興公社 第30期事業報告

◆新型コロナウイルスの影響による繁忙期の休業等で売上を大きく下げる

○ノースキング

入浴利用者については、各種キャンペーンや食事とのセット券等リピーターが増加するよう努めたほか、新型コロナウイルス感染症防止のため衛生管理等の徹底を図るなど、万全の予防対策を実施しました。

年間利用実績は、4万3185人で、前期と比べ1万6168人の減少となりました。

宿泊利用者は、引き続きネット予約販売を行うなど、お客様に対しご満足いただけるサービスの提

供に努めてきましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、年間利用実績は6600人となり、前期と比べ3629人減少しました。

レストランは、地元食材を使ったフェア、テイクアウト、デリバリー等を行い、地場産であるアスパラガスや、カボチャを使ったメニューなど、大変好評をいただいております。

しかしながら、新型コロナウイルスの影響でイベントや宴会等のキャンセルが相次ぎ、年間利用実績は、2万8741人で、前期

と比べ、1万5044人減少となりました。

○ちやちやワールド

お客様の満足度向上及び来館者促進のため努力しましたが、新型コロナウイルス感染症の影響で、一番の繁忙期である4月19日から5月15日まで休業するなど甚大な影響を受け、利用実績は9077人で、前期と比べ7089人減少しました。

売店売上は、売れ筋商品の研究、地場産のアスパラガスやカボチャを使ったうどんの乾麺を製作し販売、冷凍カボチャの販売会など、地場商品による販売促進に努めたほか、えんがる町観光協会にソフトクリーム材料提供、ネットトヨタ札幌(株)様等へ木の砂場など積極的な営業活動により、売り上げ拡大に努めましたが、売上2289万円、前期と比べ307万円の減少となりました。

○公社収益

売上高は、1億8429万円(前期2億4078万円)、経常利益は△1114万円(前期45万円)となりました。

○年間集客数

ノースキングはレストランを含めて延べ約7万8526人、ちやちやワールドは9077人合わせて8万7603人のお客様が両施設を訪れました。



コロナ禍でも工夫を凝らしたイベントを

議会の情報を発信しています

遠 軽 町 議 会

LINE 公式アカウント

LINE アプリをスマートフォンなどにインストールし、遠軽町議会を「友だち登録」



QRコードを読み込んで友だち追加

一人でも遊びに来てくれる子どもがいる限り続けたい

えんがある話 (まちの声)

○安国地区在住

読み聞かせ会どろんこ
○鏡 知一・栄子 夫妻

安国地区の子どもたちのために本の読み聞かせなどを行っている、ボランティア団体「読み聞かせ会どろんこ」で活動している鏡夫妻に話を伺いました。

「どろんこ」の活動内容は。

安国地区の子どもたちに、毎月1回10時から12時の2時間、かぜる安国を会場に絵本の読み聞かせや、運動あそびや製作あそび、おやつ作りなどに取り組んでいます。遊びの中では、みんなと協力しあえる場面を作れるよう心がけています。

また、夏にはキララン清里でキッズチャレンジクラブと一緒にキャンプを行っています。

活動を行うきっかけは。

この会は地域の子どものために自然発生的に生まれたと聞いています。私(栄子さん)が親子で参加しているうちに活動に加わり34年がたちました。はじめは、保育所と小学校の子が対象でした。しかし、その後私が代表になった時、養護学校に勤めていたこともあって分校の子どもたちも参加するようになりました。現在は、年代など幅広い子どもたちがふれ



読み聞かせの様子

あえる会となりました。

現在、私たち夫婦と地域の方3名、合わせて5名で活動していますが、地域の中学生も参加してお手伝いや片づけを率先して行ってくれて助かっています。

今後やりたいことは。

今は新型コロナウイルスのため、マスクや消毒など衛生面に気を使いますし、遊びの場面では友達の間隔など活動に制約が多いですが、今後も子どもたちが参加したくなるような活動を考えていきたいと思っています。

昔は子どもたちがお互い誘いあって来ていたのですが、地域の子どもの減少し、だんだんそのようなくなってきました。ただ、子どもたちも「どろんこ」に参加するのを楽しみにしているのです、そんな子が一人でもいる限り続けていきたいと思っています。

町や議会に対して要望は。

「どろんこ」の名前の由来は、外でどろんこになって遊んでほしいという思いからつけたと聞いています。ただ、今は外で遊べる公園がだんだん減ってきているため、できる限り整備し残してほしいと思っています。

地域に対しては、安国地区は障がい者施設が多いためかお互い声をかけ合う関係性があり、皆さんとてもやさしいと感じています。また、養護学校の卒業生が地域の事業所などで働いていて、居場所を作ってくださっていることもとても感謝しています。



外での遊びも!

今月の表紙

今月の表紙は、白滝中学校体育祭の様子です。

今年の体育祭は昨年と同様、コロナ禍により延期・縮小されて開催されましたが、15人の生徒たちは、そんな空気を吹き飛ばすような元気なパフォーマンスを魅せてくれました。

来場者も一部制限されていた中、先生や保護者も競技に参加し体育祭を盛り上げ、最後のリレーでは生徒も大人に負けないうよう全力でグラウンドを駆け抜けていました。

えんがる議会だより 第63号

令和3年8月1日発行

発行/遠軽町議会

〒099-0492 遠軽町一条通北3丁目

編集/遠軽町議会広報特別委員会

印刷/(株)遠軽新聞社